

APTi NS プリンタ・サーバー
SVS-0310S/0320S/0310e/0320e

Windows Server 2003 への
インストール方法

1. Windows Server 2003 での使用方法

NS プリンタ・サーバーSVS-03 シリーズでは、SVS-0310S/0320S/0310e/0320e のファームウェア V6.16.3 以降で Windows Server 2003 標準の Standard TCP/IP (LPR) もしくは LPR PORT を使用して印刷できます。(上記以外の SVS-02/03/04 シリーズは、Windows Server 2003 からの印刷をサポートしていません。) また、SVS-0310e/0320e は IPP Ver1.0 に対応していますので、Windows Server 2003 の標準 IPP クライアントを使用して Internet 経由での印刷が可能です。

1.1. Windows Server 2003 の プリンタポートについて

Windows Server 2003 においては、以下の 3 種類のプリンタポートが使用できますが、SVS-0310S/0320S/0310e/0320e では LPR Port (UNIX 用印刷サービス) を使用されることを推奨致します。

LPR Port (UNIX 用印刷サービス)

Standard TCP/IP Port LPR

Standard TCP/IP Port RAW プロトコル (PORT9100)

1. LPR PORT (UNIX 用印刷サービス) をご使用の場合についてのご注意

LPR PORT (UNIX 用印刷サービス) をご使用の場合、11 個を超える複数ジョブ (12 個めのジョブ) の印刷が遅れるという現象が発生する場合があります。この問題は、Windows Server 2003 において、LPR で利用できるポート数に制限があるためです。その場合には、Windows 上のレジストリを変更することにより、修正することができます。このレジストリの変更方法につきましては、マイクロソフト社の下記ホームページをご参照ください。

<http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja;179156>

2. Standard TCP/IP ポートで LPR をご使用の場合についてのご注意

Windows Server 2003 の Standard TCP/IP ポートで、LPR の機能を使用した場合に、数十ページ以上に及ぶような大量のデータの印刷がおこなわれると、プリンター側のデータ受信処理の遅れに起因する Windows 側のタイムアウトが生じることがあり、その結果ジョブの再印刷が起きる場合があります。そのような場合には、LPR PORT (UNIX 用印刷サービス) をご使用ください。

1.2. 設定概要

SVS-0310S/0320S/0310e/0320e を Windows Server 2003 で使用するには次の設定が必要です。

1. SVS-0310S/0320S/0310e/0320e の設定
SVS-0310S/0320S/0310e/0320e に IP アドレスが設定されていれば他の設定は特に必要ありません。
2. Windows Server 2003 の設定
Standard TCP/IP (LPR) 及び IPP 印刷を行う場合は、Windows Server 2003 標準の TCP/IP プロトコルを組み込む必要があります。LPR Port を使用する場合は、別途設定が必要です。

1.3. SVS-0310S/0320S/0310e/0320e 本体の設定

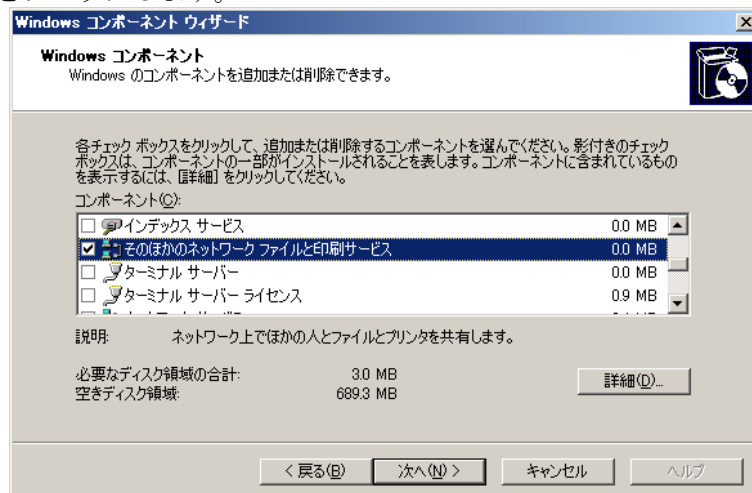
SVS-0310S/0320S/0310e/0320e に IP アドレスを設定します。設定の方法は、ユーザーズ・マニュアルをご覧ください。

1.4. Windows Server 2003 の設定

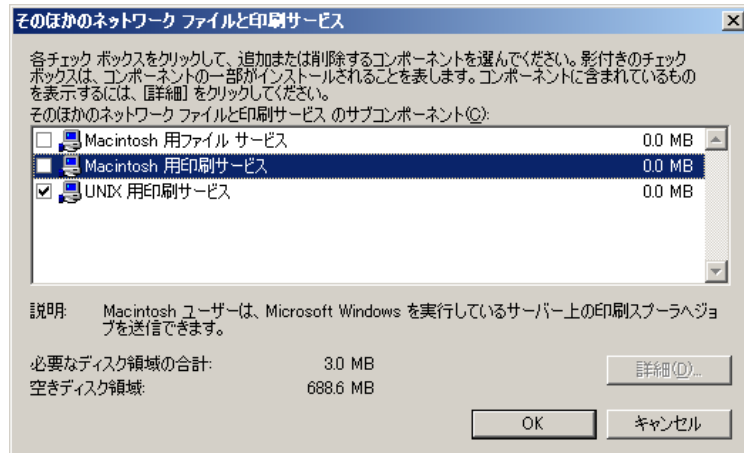
1.4.1. UNIX 用印刷サービス (LPR PORT) による印刷方法の場合

UNIX用印刷サービス (LPR PORT) を有効にする方法について

1. Windows Server 2003 上で、「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を実行し、「アプリケーションの追加と削除」を起動します。
2. 「Windowsコンポーネントの追加と削除」を選択し、表示された画面で「コンポーネント」をクリックします。
3. 「Windowsコンポーネントウィザード」が表示されますので、「その他のネットワークファイルと印刷サービス」をチェックします。



4. 「詳細」をクリックし、「UNIX 用印刷サービス」にチェックを入れて「OK」をクリックします。正常に終了すると、「Windows コンポーネントウィザードの完了」が表示されます。これで、「LPR PORT」を有効にする設定は完了です。



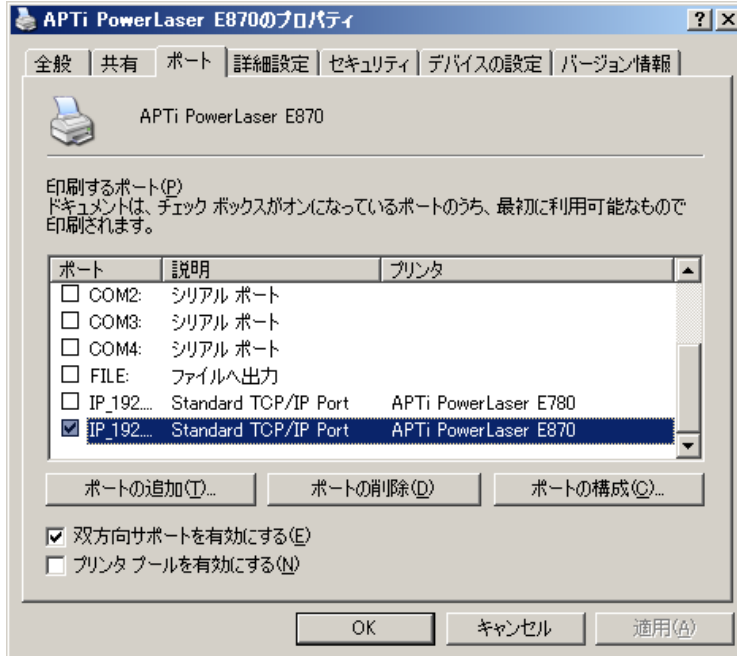
- 【注意】**「UNIX 用印刷サービス」は、「スタート」→「設定」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」の中の、「ローカルエリア接続」の設定で、「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が組み込まれていないと表示されません。

出力先ポートの定義

Standard TCP/IP Port と違うポートを使用しますので、下記の手順で設定を行ってください。

注) 「プリンタの追加」で LPT 1 ポートを出力先にプリンタを作成した所から説明を記述します。

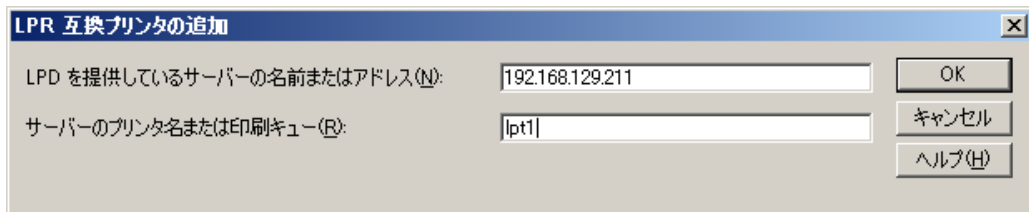
1. 「ポートの追加」を押します。



2. 「LPR Port」を選択し、「新しいポート」を押します。



3. 「LPD を提供しているサーバーの名前またはアドレス」に IP アドレスを入力します。ポート名に lpt1 を入力します。OK ボタンを押します。



4. 作成したポートが選択されていることを確認し、適用を押し、閉じるを押して画面を閉じます。



5. 『1.5 Windows Server 2003 でのその他の設定変更』に記述されているレジストリ変更を行ってください。

1.4.2. Standard TCP/IP (LPR) の場合

Standard TCP/IP (LPR) を利用し SVS-0310S/0320S/0310e/0320e で印刷を行うために必要な設定について説明します。

プリンタの作成 (Standard TCP/IP (LPR・ポート 9900) の場合)

<前提条件>

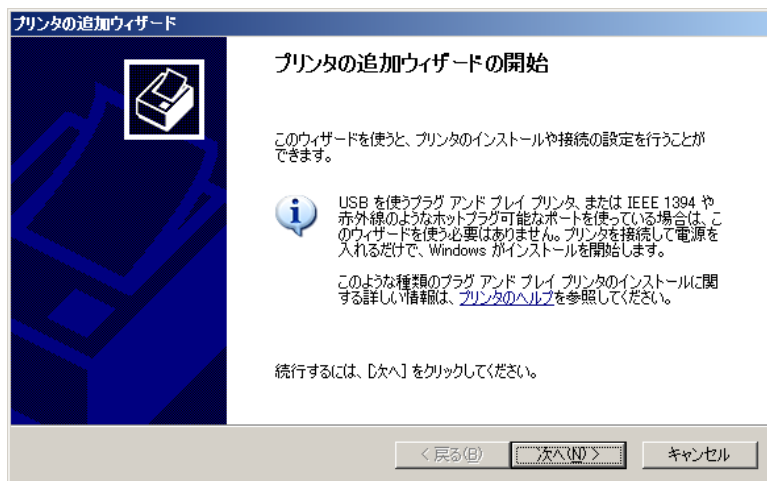
Windows Server 2003 が Ethernet に接続されており、TCP/IP を使用して SVS-0310S/0320S/0310e/0320e と通信ができることを前提とします。SVS-0310S/0320S/0310e/0320e には、適切な IP アドレス（必要に応じて、SubnetMask、DefaultGatewayAddress）が設定されているものとします。

<使用環境>

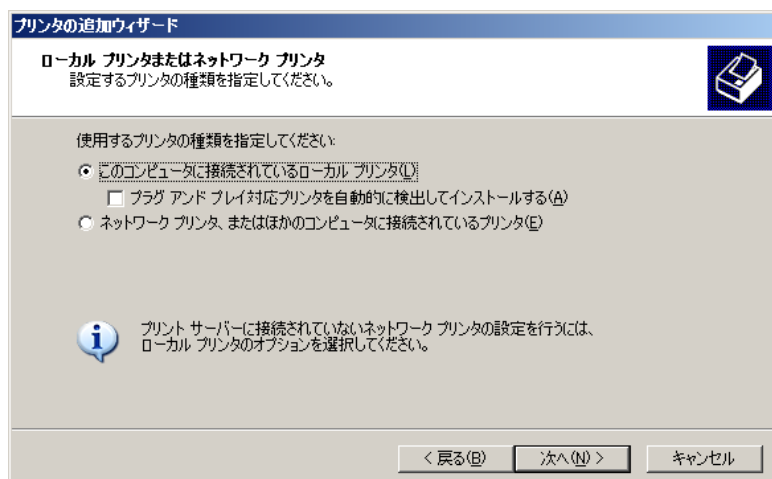
本マニュアルでは、下記の環境にて実施した場合を例としています。

使用 OS	Windows Server 2003
使用 Printer	APTi PowerLaser E870
使用 Printserver	SVS-0310e (Default 設定 IP アドレス=192.168.129.211)

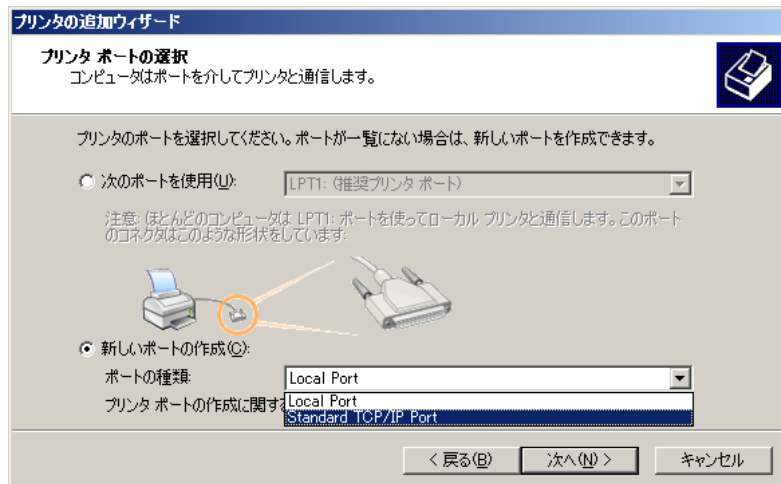
1. スタートメニューより、「設定」→「プリンタ」を選択します。「プリンタの追加」をダブルクリックします。
2. 「プリンタの追加ウィザード」が表示されますので、「次へ」をクリックしてください。



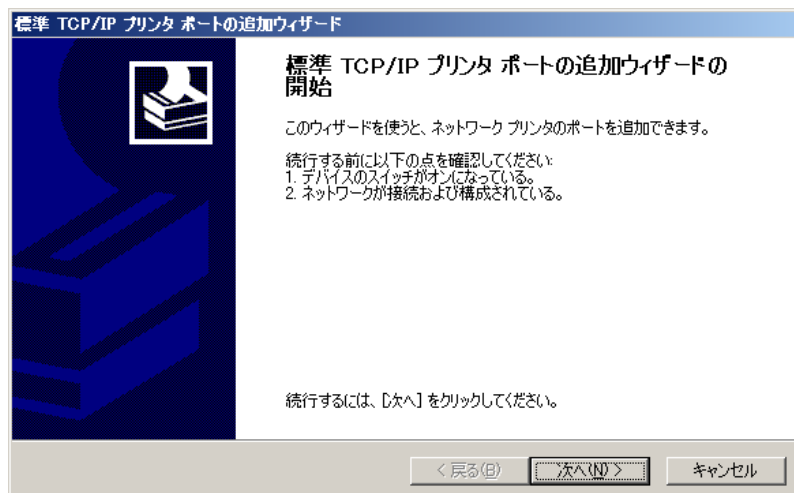
3. 「ローカルプリンタ」を選択し、「次へ」をクリックします。「プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする」にはチェックを入れないでください。



4. 新しいポートの作成で「Standard TCP/IP Port」を選択し、「次へ」をクリックします。



5. 「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」が表示されますので、「次へ」をクリックしてください。



6. SVS-0310e に設定した IP アドレスを入力し、「次へ」をクリックしてください。ポート名は、ユニークなものに限ります。デフォルトでは「IP_」 + “入力した IP アドレス”が入ります。

7. ポートの追加で IP アドレスを入力すると、その IP アドレスにアクセスし、プリンタの情報を取得する機能が用意されていますが、SVS-0310e はこの機能をサポートしていませんので「カスタム」を選択し、「設定」をクリックしてください。

「設定」をクリックすると、「標準 TCP/IP ポートモニタの構成」のデフォルト値が表示されますので、設定を変更してください。

<標準 TCP/IP ポートモニタの構成のデフォルト画面>

標準 TCP/IP ポート モニタの構成

ポートの設定

ポート名(P): IP_192.168.129.211

プリンタ名または IP アドレス(A): 192.168.129.211

プロトコル

Raw(R) LPR(L)

Raw 設定

ポート番号(N): 9100

LPR 設定

キュー名(Q):

LPR バイト カウントを有効にする(B)

SNMP ステータスを有効にする(S)

コミュニティ名(C): public

SNMP デバイス
インデックス(I): 1

OK キャンセル

Standard TCP/IP(LPR)の場合

プロトコル: RAW→LPR、キュー名: lpt1 に変更してください。「LPR バイトカウントを有効にする」にチェックをしてください。

<標準 TCP/IP ポートモニタの構成の変更画面>

標準 TCP/IP ポート モニタの構成

ポートの設定

ポート名(P): IP_192.168.129.211

プリンタ名または IP アドレス(A): 192.168.129.211

プロトコル

Raw(R) LPR(L)

Raw 設定

ポート番号(N): 9100

LPR 設定

キュー名(Q): lpt1

LPR バイト カウントを有効にする(B)

SNMP ステータスを有効にする(S)

コミュニティ名(C): public

SNMP デバイス
インデックス(I): 1

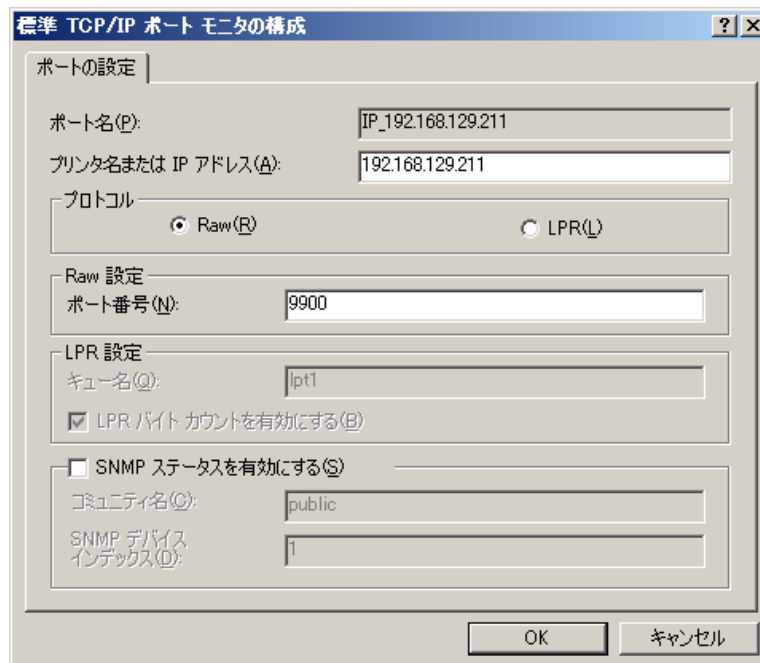
OK キャンセル

「OK」をクリックすると、「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードの完了」画面が表示されます。

Standard TCP/IP(ポート 9900)の場合

標準 TCP/IP ポートモニタの構成のデフォルト画面から、「OK」をクリックすると、「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードの完了」画面が表示されます。

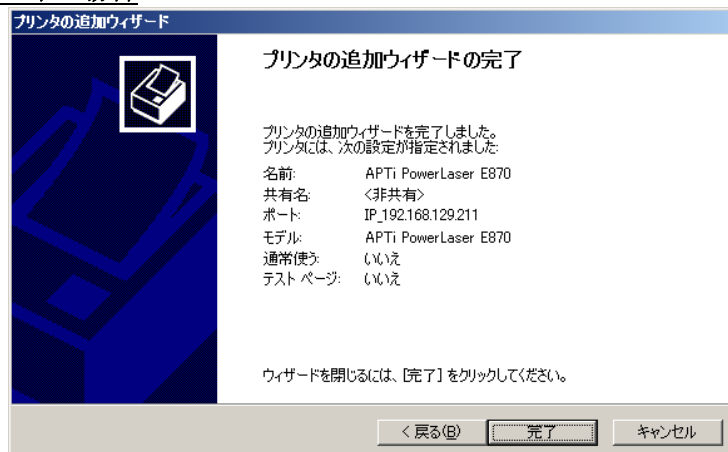
【注意】RAW(Port9900)機能は、片方向通信（送信）のみ対応しています。



8. RAW 設定ポート番号を 9900 へ変更してください。

9. 設定を行った内容が表示されますので間違いがないか確認して、「完了」をクリックしてください。

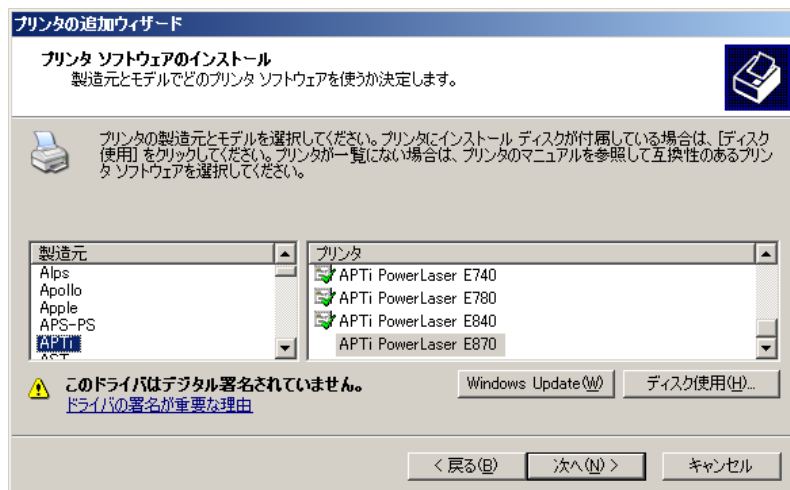
Standard TCP/IP(LPR)の場合



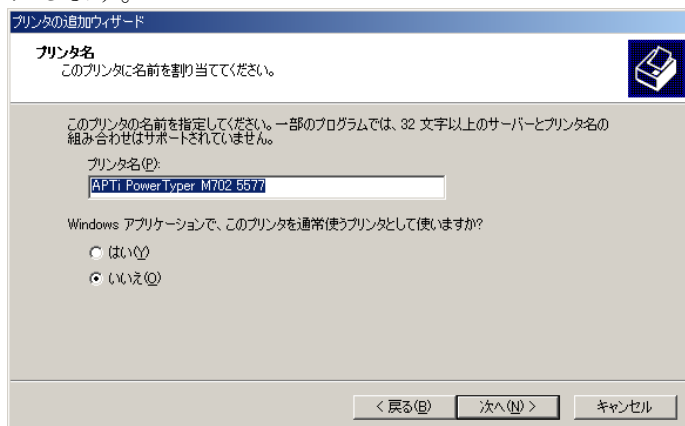
Standard TCP/IP(ポート 9900)の場合



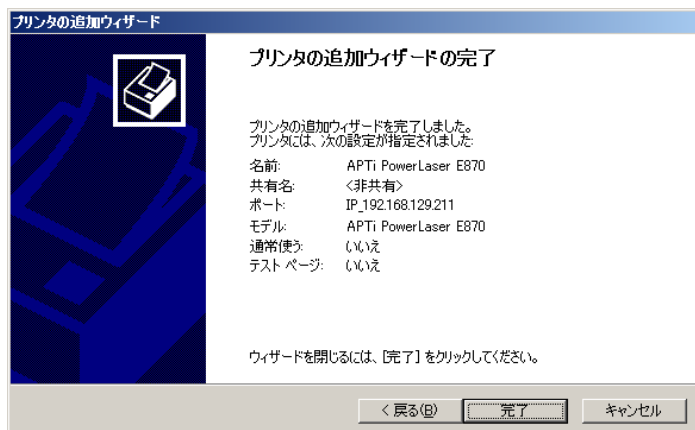
10. 「プリンタの追加ウィザード」が表示されますので、SVS-0310e に接続しているプリンタのドライバを選択し「次へ」をクリックします。



- 1 1. 任意のプリンタ名を設定し、通常使用するプリンタに設定する場合は「はい」を選択して「次へ」をクリックします。



- 1 2. プリンタの共有設定を行う画面が表示されますので、必要に応じて設定して「次へ」をクリックしてください。
- 1 3. テストページの印刷画面が表示されますので、テストページ印刷を行う場合は「はい」にチェックをして、「次へ」をクリックしてください。
- 1 4. 正常にプリンタが作成された場合は、次のような画面が表示されますので「完了」をクリックしてください。これでプリンタの作成は終了です。



1.5. Windows Server 2003 のその他の設定変更

【ご注意】LPR PORTは、WindowsNTでサポートしていたLPRモニターのため複数ジョブ印刷（11を越える印刷ジョブがプリントマネージャー上に存在している場合）時に、11個の印刷ジョブを処理する毎に、Windows Server 2003から一定時間印刷要求を行わない問題が発生しますので、下記URLを参照してWindows Server 2003の設定を変更してください。

<http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja;179156>

<http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;JA;141708>

<http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja;410759>

APTi

株式会社アプティ

お問い合わせはお客様相談センターへ

TEL:0120-28-3933

2005年5月